



小鳥の森で観察してみよう 4

## エンマコオロギ

分類：コオロギ科 大きさ：25～30mm

生態：原っぱや畑や時には人家の近くにもすんでいる。

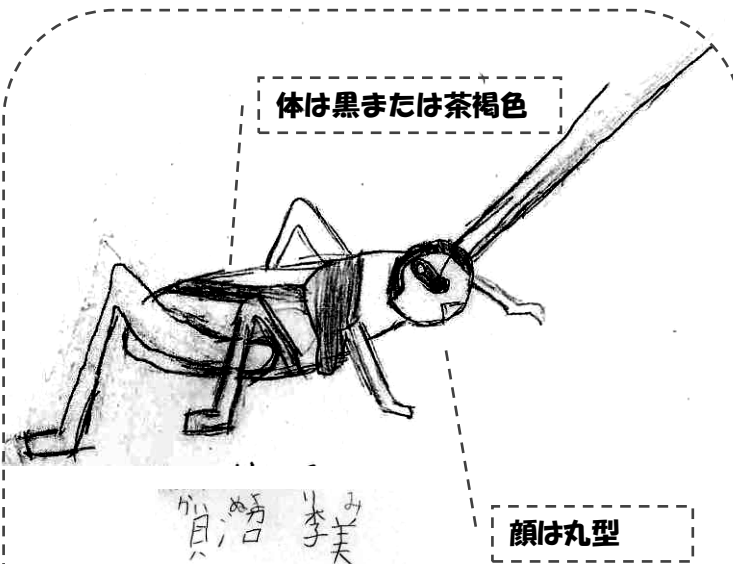
コロコロコロリ～♪と鳴く

卵で冬を越す。

雑食性。

小鳥の森での観察：

小鳥の森では『棚田』や『トンボ池』『炭焼き小屋』周辺で観察することができます。



\*エンマコオロギのイラストはかいぬまりみさんが描いてくれました。

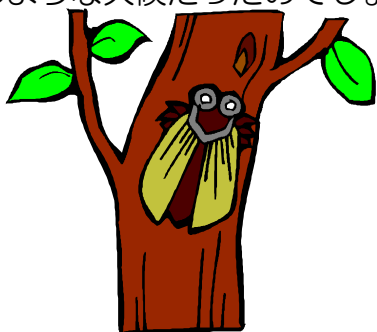
## 7月、8月の自然

7月中旬頃はセミの声をあまり聞けず心配していましたが、8月に入ると一斉に鳴きだし例年以上の賑やかさとなりました。

朝方にはエゾゼミが鳴きだし、日中はアブラゼミ、ミンミンゼミ、夕方や雨が降りそうになるとヒグラシが鳴きだしていました。

8月も中旬頃になるとツクツクボウシが聞かれました。

セミは7年かけて羽化すると言われます。7年前の夏はどのような天候だったのでしょうか。



今月は、いがらしレンジャーです

### 野鳥の声



9月頃になると、野鳥の鳴き声あまり聞かれなくなったような気がしませんか？

これは野鳥がいなくなったのではなく、子育てが終わり、あまり鳴く必要がなくなったためです。

鳴き声には、結婚相手を探すためにきれいな声や大きな声で鳴く「さえずり」と、警戒や仲間と連絡をとるために鳴く「地鳴き」があります。

ウグイスを例にすると皆さんがよく知っている「ホ～ホケキョ」がさえずりで、あまり知られていない「チャッチャ」という声が地鳴きになります。

実は野鳥のほうが素早く人間を見つけ観察しているのかもしれない。

鳴き声を覚えると、野鳥観察はより楽しくなります。ちょっとずつ覚えてみましょう。

## 7. 8月のイベント報告

- ・ 7月30日・31日にお山の大将「キャンプ」を実施しました  
今年天候が思わしくもあり、気分を変えて、室内でテントを張りお泊まり会のような雰囲気を実施しました。  
子どもたちはみんなで協力してテントをたてたり、初めて自分たちで調理したカレーを食べたりとても楽しそうでした。



(みんなで調理中)

\*福島市小鳥の森のイベント情報はホームページをご覧ください。

## 小鳥の森では出前講座をしています

福島市小鳥の森では、福島市の学校や子供会、老人会など様々な団体向けに出前講座を開催しております。(福島市内は無料、市街の場合は要相談)「バードウォッチングを体験したい」「野鳥の話をしてほしい」「身近な自然を観察したい」といったことや、「巣箱作り」「エサ台作り」だけでなく「木工クラフト」を体験したいといった要望にもお応えすることができます。

福島市内の団体の皆様、幹事の皆様ぜひ小鳥の森の出前講座をご活用ください。  
(出前講座を希望する場合は2週間前までにお申し込みの上、事前打合せが必要となります。また工作やクラフト等に関しましては準備をお願いしたり、材料費の負担が発生したりします。詳しくはお問い合わせください)



(7/5 小学校木工クラフトの様子)



(6/30 中学校野鳥講座の様子)

\*受け付けは先着順に受け付けております。すでに予約が入っている場合、対応できないこともあります。

\*事前打ち合わせをすることで、目的に合わせたプログラムを提供できます。

**福島市小鳥の森 (ネイチャーセンター) 開館時間：午前8時30分～午後5時**  
**《入場無料》 休館日：毎週月曜日 (祝祭日の時はその翌日)**

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.wbsj.org/sanctuary/fukusima/>

小鳥の森通信[しじゅうから] 2011年9月№315/企画・発行：福島市小鳥の森/(公財)日本野鳥の会・サンクチュアリ室